

知内28得点大勝

市函館、函高専も初戦突破

秋の高校野球予選

函館支部

第68回秋季北海道高校野球大会函館支部予選(道高野連など主催)は20日の

15日、函館市千代台町の函館オーシャンスタジアムで

Bブロックの1回戦3試合を行った。知内は南茅部に

28-0のコールド勝ち。市函館は4-2で八雲を下

し、函高専は松前・福島商・長万部連合チームを15-

7で退けた。(山村麻衣子)

▽Bブロック1回戦

南茅部00000000

知内099910X280

(五回コールドゲーム)

(南)松本、熊谷、小坂蓮

(知)清水、岩山

▽三塁打 山本2(知)

▽二塁打 山本(知)

知内は公式戦初登板の1

年生清水が8奪三振と活

躍。被安打1に抑え、二塁

を踏ませなかった。打線は

二回以降、毎回打者一巡の

猛攻。相手外野手などの失

策も重なり、大量得点した。

ベンチ入り10人の南茅

部は1安打に抑えられた。

市函館2010000100024

八雲100000100002

八雲は、2点を追う六回に1点を返すなど追い上げを見せたが、後が続かなかった。

函高専 2031000054715
2001000040715
松前・福島商・長万部
(函)阿部、小野寺
(松)丸井、横浜
▽三塁打 川島、扇野(函)、丸井、堀川(松)
▽二塁打 古川、川島、落合(函)、横浜(松)

函高専は三回、死球や扇野の適時打などで3得点。流れを呼び、終盤の八、九回には再び扇野の適時2点三塁打など10本の長短打を放ち勝負を決めた。

松前・福島商・長万部連合チームは、八回、堀川の適時2点三塁打や相手の失策などで、4点を返したが及ばなかった。

市函館は初回、相手の暴投などで2得点。三回には適時打、八回にも犠飛で追加点を入れた。守っては主戦山田が粘投し、毎回走者を出したが、2失点に抑えた。

函館支部(函館オーシャンスタジアム)

差部工北国	16日 8:30	13-2
中稜	20日 10:00	
函函	16日 11:00	
函函	22日 10:00	
函函	16日 13:30	
函函	20日 12:30	
函函	9-8	
函函	17日 8:30	
函函	17日 11:00	
函函	28-0	
函函	21日 10:00	
函函	4-2	
函函	17日 13:30	
函函	22日 12:30	
函函	18日 10:00	
函函	21日 12:30	
函函	15-7	
函函	18日 12:30	

監督兼任 主将けん引

函高専 坂本選手



監督を兼任する緊張の中、2安打1打点を挙げた坂本主将

「もっと声出せ」。右翼手と二塁手、一塁手の間上がったフライを譲り合い、右前打になるなどで4点を失った八回が終わり、函高専の主将・坂本早駿(一塁手、2年)は、「監督」としてベンチで仲間に加えられた。

同校では慢性的な指導者不足のため、昨秋の支部予選から函高専4年の芳谷侑嗣(三塁手)が監督として指導している。しかし、この日は芳谷監督がインターンシップ(就業体験)、教員の鈴木学部長も出張のためおらず、公式戦では初めて監督を担った。

今月上旬の練習試合で一度監督を体験したが、今日の試合では、緊張してサインの動作が速くなってしまったという。打席に入った仲間「待て」とサインを出したがうまく伝わらず、打ってしまった場面もあり、「監督としては70点くらい」と振り返る。

打順などのオーダーも前